

駐在員だより 「声を掛けあう」

駐在員のオフィスは、州都ランシング市のミシガン州教育局の 4 階にあります。オフィスに行くには、エレベーターを利用することが多いのですが、地下や 1 階で一緒にエレベーターに乗った人がエレベーターから降りる時に、“Have a good day!”（「良い一日を」という意味。）と声を掛けてくださることが多いです。私と同僚と見知らぬ人の 3 人でエレベーターに乗っていて、見知らぬ人が私と同僚に“Have a good day!”と声を掛けてエレベーターを出られた後に、同僚に今の人を知ってるかと聞きましたら、「いや、知らない人だよ」と言っていたこともありました。

教育局オフィスは職員のブースがパーテーションで区切られていて、日本との違いを感じるのですが、オフィスでも誰かがくしゃみをする時、パーテーション越しに周りの職員が“Bless you!”（ここでは、「お大事に」という意味。）と声をかけています。声掛けをする習慣は、新鮮でした。

ミシガン州に駐在して、勤務し始めてしばらくは、くしゃみをしても、周りの人から “Bless you” と声をかけられることはなかったのですが、ある時、“Bless you”の声をかけられました。私も周りに認知していただいたのでしょうか。自分も、周りで誰かがくしゃみしたら、“Bless you”と言おうと思い始めていました。あるとき、近くのブースの女性がくしゃみをしたのですが、言いそびれて、他の職員に先に “Bless you” と言われてしまいました。それはいいのですが、その後、くしゃみをした女性が早口に何かを言いまして、それに対して “Bless you” と言った男性は “No.” と返事をして少し会話が始まったのです。私の “Bless you” から質問が来て、英語がわからず、質問に答えられなくて恥ずかしい思いをしたかもしれないと少しほっとしましたが、一方で「英語の上達には王道はない。恥じをかくことが英語上達への道」という先人の言葉を思い出し、次からはしっかり対応しようと思ったものでした。今では、なるべく声を掛けるようにしています。



滋賀県駐在員ブース外観



空きブース内の様子